

令和元年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	31・1	学校名	静岡県立清水南高等学校・同中部	記載者	石川 芳恵
------	------	-----	-----------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	中高一貫教育校にふさわしい教育課程の検討、授業改善及び学習指導の充実を図る。	「授業で力がついた」と答える生徒の割合：80%（中・高共通）	A	A	授業リサーチは継続させて授業改善に役立ててほしい。
		週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合：80%（中・高共通）	C	B	中等部での学力の二極化と学習しない14.9%が気になる。受検がなく家庭学習が少ないのだろう。高校で伸びているのは教員の努力の賜物である。
		校内演奏会、公開レッスン等実施回数：年間計12回 美術鑑賞、実技講習会等実施回数：年間計10回	A	A	美術予備校講師の講習は効果が高いので継続させるべきである。昨年からの新企画(AOI学芸員)も継続させてほしい。
		芸術科を本校の特色として感じている生徒の割合：80%	A	A	高校で特色と感じる生徒が減るのはなぜだろう。芸術科の広報は、積極的に行うべきである。
		授業公開週間実施回数：年間4回 外部講師による講演満足度：80%以上	B	A	色々な意見があると思うが年4回の授業公開週間は継続してほしい。講演満足度80%以上は立派である。
イ	こころざしを育むための進路指導の充実を図る。	講演、講義等の回数：年間計10回以上	A	A	南極クラブ・吉本・メンタル研修など講演内容に工夫が感じられた。時間確保のために授業への影響は大きいですが、上手にバランスをとって欲しい。
		中等部：学力到達度調査 評価A以上：27%以上（中3） 高校：国公立大学合格者 30%以上（普通科）、芸術系大学合格者 70%以上（芸術科）	B	B	成果目標の吟味は必要だが、中等部の数値目標は達成できている。国公立大学合格者 30%以上（普通科）の結果はまだ判らないが期待している。
ウ	中高が連携し、効果的な生徒指導を推進し、規範意識と自己肯定感を高める。	年間の交通事故件数：中等部・高校ともに前年度比減	C	B	交通事故件数の増減を規範意識の醸成の指標とすることがおかしい。全ての交通事故が被害者であるのでなおさらである。交通事故0に向けての指導は当然だが、目標に合った指標を考えてほしい。規範意識や自転車マナーなら遅刻や苦情件数も指標になるのではないかな。

様式第5号

		「信頼できる先生がいる」と答える生徒の割合：70% (中・高共通)	B	A	信頼できる先生がいる70%以上は高い。高校になると割合が減少することが気になる。
		「自分には良いところがある」と答える生徒の割合：70% (中・高共通)	B	A	生徒の自己肯定感が高い。教員の声掛けで生徒は自信を持つので、ボイスシャワーの継続や行事等の工夫を継続して欲しい。
		生徒向け「相談室だより」発行：年間計10回	B	B	年度途中の教育相談コーナーの設置は、結果的に教育効果が高まったので、良かったのではないかな。
		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合：80% (中・高共通)	A	A	学校に相談できる人がいる81.1%は立派な調査結果だと思う。高校の数値が低下は、生徒の成長を考えればむしろ当然である。高校生の4人に1人が学校に相談できる人がいないことが気になる。
エ	学校行事、部活動等の充実を図り、社会性と自立心を育成する。	部活動に一生懸命取り組む生徒の割合：80%以上(中・高共通)	A	A	保護者アンケートでも、部活動や行事に対する評価は高くなっている。
		海外研修で「充実している」と答える生徒の割合：90%以上 海外交流行事実施：1回以上	A	A	新規のウィーン研修旅行は、ハワイのように中身の充実を期待している。移動時間の長さ以上のメリットを求めてほしい。
		ボランティア活動・社会貢献活動・奉仕活動経験生徒：60%以上	B	B	福祉委員会の活動は工夫が感じられた。高校生の割合の低さは何が原因か。
		「学校生活が充実している」と答える生徒の割合：70%(中・高共通)	A	A	アンケート調査の結果によるものだが、数値にとらわれず引き続き充実した教育活動を実践してほしい。
		芸術鑑賞教室満足度：80%以上 図書館貸出数：4000冊以上	B	B	芸術鑑賞教室の在り方は、課題が多いらしいが、生徒主体に検討してほしい。
オ	開かれた学校づくり、安心・安全な学校づくりを推進する。	土曜オープンスクール参加者数：年間1,600人 ホームページアクセス：年間500,000件	C	B	HPアクセス数の79万件は立派である。生徒の減少に合わせた成果目標の吟味も必要ではないかな。
		PTA総会出席率：50% 学年保護者会の出席率：出席率50%以上(中・高共通)	C	B	PTA総会の出席率向上のための工夫は評価できる。教員の多く来校してほしいと思う気持ちは理解できるが、委任状がほぼ100%であることを考えれば十分ではないかな。平日に都合のつく保護者ばかりではないと思う。

様式第 5 号

		実践的防災訓練実施:年間 3 回 地域防災訓練参加率: 中等部 75%、 高校 45%	C	B	非通知の防災訓練から学んだことが多かったようだ。今後に生かしてほしい。学校防災推進協力校としての活動が役に立ったと思う。
		講話や研修等の取組:月 1 回以上	A	A	色々と難しいことがあると思うが、継続的に実施していくことが重要である。職員のコンプライアンスに対する意識調査を実施しているか。
カ	環境美化、事務業務の効率化、働き方改革を含めた業務改善を行う。	平常の清掃、学期初めと終わりの清掃及び全校清掃の徹底	A	A	学校がきれいになってきていることが感じられる。トイレはきれいな方が良く、古いトイレは改修してほしい。
		予算執行等に関する校内研修会の開催:年 1 回	A	A	可能な限り早い時期に実施することが効果的ではないか。
		夏季休暇の取得率:100% 時間外勤務一ヶ月平均 80 時間以上 の教職員:0% 部活動ガイドラインの遵守	B	B	働き方改革に伴う来年度の数値目標の設定をどうするのか。部活動ガイドラインの遵守がほぼできていることは素晴らしい。